

地域や企業の力を 最大限に引き出し、 仙台を元気にする お手伝いをしています。

有限責任事業組合コムワーク・プロジェクト
代表

いし い こう じ
石井 光二氏

プロフィール

1961年生まれ。宮城県石巻市出身。
東北大学文学部を中退し、その後(株)エスデーファイブ創業に伴い入社、99年代表取締役社長に就任。仙台青年会議所理事、仙台商工会議所青年部理事の活動を通して企業間連携の大切さを学ぶ。2010年、青年部で出会った3社でコムワーク・プロジェクトを設立。地域や商店街の活性化チームとして活動中。



得意分野を異にする 3社が連携

― 事業内容を教えていただけますか。

コムワーク・プロジェクトは、仙台を中心とした地域活性化、地域・企業の集客促進及び販売促進などをサポートしています。これまでに「仙台お笑いコンテスト」をはじめ、仙台七夕まつりの「おまつり広場」、「ミス・ユニバース・ジャパン東北大会 in 仙台」などの運営に携わってきました。また、最近では、仙台市中心部商店街の賑わいづくりと東北復興支援の拠点として設けられた「仙台なびつく」および「東北ろっけんパーク」の運営に参画させていただいています。

― 事業組織を「有限責任事業組合」という形態にしたのは、どのような理由からなのですか。

もともと、仙台を基盤に事業を展開する印刷・マーケティング会社の(株)エスデーファイブと、エンターテインメント会社の(株)BBI、イベントを企画・運営する(株)ラフ・アソシエイツの3社で、平成22年4月に立ち上げた組合です。皆、仙台商工会議所青年部のメンバーで、「気心も知れている仲間同士、企業間連携で仕事ができるか」と、チームを組んだのが始まりです。

組織形態については、悩んだ末に有

限責任事業組合(以下、LLP)に決めました。銀行口座をつくる時にも、窓口の方を困惑させてしまうほど、仙台では珍しい形態のようです。

LLPという形態を選んだ決め手は、「自由度が高い」ということ。株式会社の場合には出資割合に応じて利益分配が決まりますが、LLPの場合、手がける事業に応じて利益分配を決められるのです。しかしそれ以上に、得意分野がそれぞれ異なる3社がメンバーとなっているので、新たな事業を行うときは精神的に心強いですし、それぞれの特性を生かせば、スムーズに仕事が進むというのがメリットだと思います。

理解と協力が活動の原動力

― 手がけてきた事業の中でも、代表的なものについて詳しくお聞かせいただけますか。

まず、私たちが最初に行ったのが「仙台お笑いコンテスト」。県内だけでなく、東京や大阪などの各地から芸人さんを集め、商店街のアーケードに数カ所のステージを設けて行うお笑いイベントです。3年前に、仙台市中心部商店街さんから「年末に多くの人々をひきつけ、まちを盛り上げられるようなイベントができないか」というご相談をいただいていたスタートし、今年で4回目の開催となりました。



“仙台笑コン”の愛称で親しまれている「仙台お笑いコンテスト」。全国から集まった芸人たちのトークで会場は笑いに包まれる。

「仙台なびつく」と「東北ろっけんパーク」は、仙台市の委託事業として行っています。

「仙台なびつく」は、もともと存在した中心部商店街の活性化プロジェクトの情報発信施設としてつくられたもので、一番町四丁目商店街に23年8月にオープンしました。店舗やイベントなどの情報を発信しながら、企画展示を行ったり、店主さんを講師に迎えてのワークショップ、商店街ツアーなどをを行い、訪れる方からは「改めて中心部商店街の魅力がわかった」と、大変好評を得ています。

また24年5月にオープンした「東北ろっけんパーク」は、1階に東北の復興商店街の情報やグッズを紹介、販売する「復興バックアップフロア」、2階には新たに事業を立ち上げ、店舗出店を目指す人に実戦経験を積んでいた

だく「TRY6チャレンジショップ&チャレンジボックス」が設けられ、3階は起業や創業の相談受付やアドバイスを行うスペースになっています。毎週末開催される、東北各地のいいもん・うまいもんを集めて販売する「東北いいもんパーク」には、すでに根強いファンが生まれているんですよ。

この2施設は、東日本大震災からの東北の復興を中心部商店街全体で推進していこうという意味を込めて、「東北復興交流ツインステーション」と位置づけられています。

この他、震災復興関連では、ビジネスとは別に「運動」として、青年部のメンバーを中心に「BUY!T.O.H.O.K.Uプロジェクト」を24年6月に立ち上げました。「買おう、食べよう、訪れよう。東北」というコンセプトで、現在80社余りの企業が参加して、東北の食や物産のPR活動を続けています。

仙台の元気が 東北経済を牽引

— 今後の抱負をお聞かせください。

私は「摩擦熱（エネルギー）」と表現をしているのですが、1社にできることには限界があります。しかし複数になれば意見のぶつかり合いも含めて、摩擦によるエネルギーが発生する。そのエネルギーをプラスの方向に活用したいと思います。震災から時間が経過し、復興に対する思いにも温度差が出

てきていると思います。それは仕方のないことかもしれませんが、長い目で見れば東北の競争力を高めていくことは非常に大切で、その中心である仙台が元気になることが必要です。

中心部商店街の皆さんは、震災直後もいち早く店を開け、不安を抱える人々に声をかけたり、情報交換の場になったりと、心の寄りどころになってくれました。そんな心意気があるこの商店街でなければ、「仙台なびつく」をはじめとした様々な取り組みも生まれなかったし、継続もできていないと思います。

ですから、これからも、商店街をはじめとした地域の方々と一緒になって地元が元気になるお手伝いをさせていただきます。

【概要】

有限責任事業組合コムワーク・プロジェクト

設立：昭和22年4月16日

代表者：石井光二（㈱エスデーファイブ 代表取締役社長）

共同代表：白津守康（㈱BBI 代表取締役社長）

職務執行者：鈴木未来（㈱ラフ・アソシエイツ 代表取締役）

：稲妻亨（㈱エスデーファイブ 新事業担当課長）

事業内容：仙台市をはじめ宮城県内市町村の地域活性化、地域や企業の集客及び販売促進をサポート。

所在地：仙台市若林区卸町東2丁目3-30（㈱エスデーファイブ内）

TEL. 022-788-2377

ホームページ：http://comworkproject.com

森

『森』は生きています。人間と共に。

二酸化炭素を酸素に。人間にとって欠かせない酸素を、人間が吐き出した二酸化炭素から作り出す植物たち。この自然のサイクルを、一本の木を、そして森全体を、見守っていかなくては……。そう私たちは考えています。私たちは青葉環境保全です。

—— より良い環境をめざす ——
AOBA 青葉環境保全

本社/仙台市若林区蒲町19-1

電話(022)286-3161(代)